

令和7年4月14日

高等学校長殿
放送部顧問殿

石川県高等学校文化連盟放送専門部
部長 森田久俊
(公印省略)

第45回石川県高等学校総合文化祭 (第72回NHK杯全国高校放送コンテスト石川県大会)

標記のことにつき、要項を送付いたしますので、貴校放送部顧問担当教諭および放送部生徒の参加について、ご配慮下さるようお願い申し上げます。

なお、申し込みの際には十分に大会の要項を読み、間違いのないよう御注意下さい。

6月5日(木)の開催です。今年度も木曜日となっております。開会行事の開始時間も9時40分とさせていただきます。お間違いないようお願いします。また、今大会もアナウンス部門・朗読部門について、各校からの出場生徒数を5名ずつとさせていただきます。また、全国大会出場者および出場校の研修会を6月6日(金)に開催します。

※内容について不明の点がありましたら、野々市明倫高等学校 高文連放送専門部 専門理事長 高根までお問い合わせ下さい。(TEL 076-246-3191)

第 45 回石川県高等学校総合文化祭放送部門 (第 72 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト石川県大会) 開催要項

主 題 現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望をもつ人間としての成長をめざし、校内放送活動をメディアリテラシーの実践と位置づけ、情報発信としての放送活動の発展をはかる。

主 催 石川県教育委員会
石川県高等学校文化連盟
NHK金沢放送局

会 場 白山市松任学習センター 白山市古城町 1 番地 TEL 076-274-5411

日 時 令和 7 年 6 月 5 日 (木)
9 : 1 5 ~ 9 : 3 0 受 付
9 : 4 0 ~ 1 5 : 3 0 開会行事・審査・作品発表
1 5 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0 成績発表・講評・表彰

参加申込 令和 7 年 5 月 7 日 (水) 当日必着
所定の参加申し込み用紙 (Excel ファイル) を Teams 「R07_6 月県大会」チャンネルに保存しますので、ダウンロードして下さい。
必要事項を入力し、下記までメール添付にてご提出ください。
(原本の郵送等は不要です)
※今大会より、**アナウンス部門・朗読部門のエントリー数は 1 校それぞれ 5 名までです。**
※データをもとにプログラムを作成しますので、間違えのないようご注意ください。
※**原稿等は 5 月 1 3 日 (火) を最終締め切り**とします。
※令和 6 年 1 1 月の新人大会で優秀賞を受賞した者は、本大会において、予選なしで決勝進出の資格を与えるので**申込書の所定欄に記入すること**。なお、**当該生徒は 5 名の出場枠には含めません。**

石川県立野々市明倫高等学校 高文連放送専門部 専門理事長 高根 睦 TEL (076)246-3191 a24_noah@ishikawa-c.ed.jp
--

参加費

1. アナウンス部門	1 名につき	5 0 0 円
2. 朗読部門	1 名につき	5 0 0 円
3. 番組制作部門	1 作品につき	8 0 0 円
4. 校内放送研究発表会		無料

参加資格 令和 7 年 6 月現在、参加する高等学校に在学中の生徒およびその作品

表 彰 優秀な生徒・作品には、最優秀賞・優秀賞・優良賞・入選の表彰を行う。
参加数・入賞数によって学校別に得点を与え、得点の多い学校を総合優勝（同点の場合は、上位入賞数で決める）として表彰する。

アナウンス・朗読部門 参加点 1 点 (ただし上限 1 0 点) とし、入選 1 点、優良賞 2 点、優秀賞・最優秀賞 3 点をそれぞれ加点する。

番組制作部門 参加点 1 点とし、優良賞 2 点、優秀賞・最優秀賞 3 点をそれぞれ加点する

校内放送研究発表会 参加点に含めない

※優良賞以上の入賞生徒および優秀賞以上の入選作品は、7 月 2 1 日から東京都で行われる NHK 杯全国高校放送コンテストへの出場資格を与える。

参加規定

(1) アナウンス部門

参加人数	<u>1校5名まで</u>
内 容	<u>自校の校内放送に使用するもの</u> とし、原稿を生徒が自作したものに限る。
制限時間	アナウンスのはじめに、番号と氏名を読むこととし（学校名は読まない）、時間はそれらを含め、 1分10秒以上1分30秒以内 とする。超過は失格。
規 定	原稿は提出フォームに入力し送信する。

(2) 朗読部門

参加人数	<u>1校5名まで</u>
内 容	次の指定作品の中から1編を選び、自分の表現したい部分を抽出して朗読する。作品の改変は認めない。 ※抽出は文頭から開始し、文末で終了とすること。一文途中の開始や終了は改変とみなす。本文中の（ ）内も読むこと。（読み仮名・訳者注を除く）
指定作品	次の指定作品の中から1編を選び、自分の表現したい部分を抽出して朗読する。 作品の改変は認めない。 1)「潮騒」 三島 由紀夫 著（新潮文庫） 2)「一色一生」 志村 ふくみ 著（講談社文芸文庫） 3)「推し、燃ゆ」 宇佐美 りん 著（河出文庫） 4)「不思議な少年」 マーク・トウェイン 著／中野 好夫 訳（岩波文庫） 5)「世間胸算用」 井原 西鶴（出版社は問わない） 注意：電子書籍不可。1)は、令和2年11月1日新版以降のものとする。2)は、収録作品のいずれを選んでも良い。4)は他の出版社、翻訳者のものは不可。5)は現代語訳不可。
制限時間	朗読のはじめに、番号、氏名、作者名（訳者名は読まない）、作品名を読むこととし（学校名は読まない）、時間はそれらを含め 1分30秒以上2分以内 とする。
規 定	原稿は提出フォームに入力し送信する。

(3) 番組制作部門

ラジオドキュメント部門、テレビドキュメント部門、創作ラジオドラマ部門、創作テレビドラマ部門の4部門

ラジオドキュメント部門

作 品 数	1 校 2 作品まで（ただし全国大会出場は 1 校 1 作品までとする）
構 成	手法は問わないが、いわゆるドキュメンタリー番組であること。
内 容	高校生活や地域社会とのかかわりの中に広く素材を求め、ラジオの特性を生かして制作された、高校生としての視点を大切にしたい、独創的な作品であること。
再生時間	6 分 3 0 秒以上 7 分以内 でまとめる。
制作規定	・ 作品の最後には「制作は〇〇高等学校放送部でした」というクレジットコールを入れる（クレジットコールには、クレジットコール以外の音声を入れない）。また、作品の最後に 2 秒程度のブランク（無音）を入れること。 ・ 計時は、最初の音の直後から、クレジットコールの終わりまでとする。 ・ MP3 形式で保存された音声ファイルを提出。 ・ ファイル名は学校名略称と番組名とすること（例：【石川】〇〇の秘密）。
番組進行表	様式 2－1～6 をダウンロードし、直接入力する。A 4 判たて用紙で印刷する。「表紙」「CUE シート」「権利処理一覧表」「音源使用許諾申請書（該当作品のみ）」「取材許諾・著作物等ご提供のお願い」「提出前チェック表」を 1 つの PDF ファイルにして提出する。
提 出	音声ファイル、番組進行表

テレビドキュメント部門

作品数	1 校 2 作品まで（ただし全国大会出場は 1 校 1 作品までとする）
内容構成	高校生活や地域社会とのかかわりの中に広く素材を求め、テレビの特性を生かして制作された、高校生としての視点を大切にしたい、独創的な作品であること。
再生時間	7 分 3 0 秒以上 8 分以内 でまとめる。
制作規定	・ 作品の最後には、制作した学校名の入ったクレジットを入れる。また、様式 3 のテストパターンを作品の前後に 5 秒ずつ入れること。 ・ 計時は、初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの始まりまでとする。テストパターンは改変してはいけない。 ・ 計時は、初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの始まりまでとする。 ・ テレビ放送番組などの再録を主体としたものは認めない。 ・ MP4 形式（NTSC 規格、アスペクト比 16:9、H.264 コーデック、HD 画質以下<解像度 1080 [1920×1080] 以下>SD 画質も可）で保存された動画ファイルを提出。 ・ ファイル名は学校名略称と番組名とすること（例：【石川】〇〇の動揺）。
番組進行表	ラジオ番組に準ずる。
提 出	動画ファイル、番組進行表

創作ドラマ部門

作 品 数	ラジオ・テレビ毎に1校1作品まで
部 門	創作ラジオドラマ部門、創作テレビドラマ部門
再生時間	8分以内 でまとめる。
制作規定	・脚本は参加資格を有する自校生徒のオリジナル作品であること。文芸作品等からの脚色や改作は認めない。 ・出演者は自校生徒に限る（中高一貫校にあっても高校生のみ）。 ・その他の制作規定については、ラジオおよびテレビドキュメント部門に従うこと。 ・ファイル名は学校名略称と番組名とすること（例：【石川】〇〇の告白）。
番組進行表	ドキュメント部門に準ずる。
提 出	ラジオドラマはラジオドキュメント部門に、テレビドラマはテレビドキュメント部門に準ずる。

校内放送研究発表会

参 加 数	1校1発表
目 的	日常の校内放送活動の中から、問題解決の努力または技術的な創意工夫などを発表する機会を設け、各学校が持つ諸問題を共有して共に解決する。
内 容	・校内放送に関するものに限る（校内放送の技術、機材、アナウンス・朗読の技術、番組の制作や編集の技術、部活動・委員会活動の運営方法など）。 ・今大会にエントリーしている関連の内容、または類似の内容であってはいけない（本年度の大会参加作品の上映はたとえ一部であっても一切認めない）。 ・メーカー名、商品名の写り込みを避け、特定の製品のPRも避けること。 ・発表技術を競うものではなく、問題解決の結論を重視する。 ・発表の内容に合わせて以下の3つの類型を設定し、発表校はエントリーの際に自校の発表がどの類型に該当するかを申告する。 I 類＝アナウンスや朗読に関する研究 II 類＝番組制作に関する研究 III 類＝その他（学校行事の運営や校内放送など）
規 定	発表は 機材調整を含め8分以内とし、発表者は機器操作も含めて3人まで とする。
発表形式	PowerPoint のデータ容量は 300MB 以内 とする。おもにパソコンを使用したスクリーン1面によるプレゼンテーションとする。 アニメーション機能は使用してよい 。発表用のPowerPoint データの作成にあたり、他のパソコンで開くことを想定して ファイルにフォントを埋め込んでおくこと 。2画面の投影はできない。録音・録画を主体とする発表は認めない。発表では、メーカー名、商品名の写り込み、特定の商品のPRを避けること。
機 材	発表に必要なスライド、音声、映像等はすべてPCから再生し、会場設置のプロジェクターでの上映と、会場音響からの音声送出を行う。 PCは各校の持ち込み とする。
研究要旨	研究要旨（研究の目的と方法論と結論を、わかりやすく200字程度でまとめたもの）を送信すること（詳細は別紙）。

注 意

- (1) 1人でアナウンス部門と朗読部門への参加は認めない。また、今大会よりアナウンス部門・朗読部門について、エントリー数は1校5名までとする。
- (2) 昨年の新人大会の優秀賞受賞者は申込書の所定欄に記入すること。ただし、当該生徒は各校の5名の出場枠には含めません。
- (3) 他のコンクールなどに参加した作品及びそれを改変・改編した作品の参加は認めない。
- (4) 様式に関しては、「校内放送研究 No. 195」(赤本)を参照すること。要項は縮小版が印刷されているのでそのまま使うのではなく、全国高校放送コンテスト委員会 web ページ
https://hosokyoiku.jp/ncon_h/info/ からダウンロードすること。
- (5) 提出された作品の著作権は、制作者(応募した学校)に帰属する。
- (6) 番組作品は、すべて放送及び配信されることを前提として制作すること。著作権などを含む許諾関係については、所定の様式を用いて必要な権利を確保しておくこと。「校内放送研究 No. 195」(赤本) p. 18 以降をよく読み許諾を得ること。
- (7) 原稿データや番組作品データの提出方法等については、後日ご連絡させていただきます。
録音データ及び番組の提出は5月13日(火)までとする。
- (8) 参加費について、申込書の中に参加費の合計金額が出ますので、その金額を以下の銀行口座に振り込んでください。参加費につきましても、5月13日(火)を目途にお振込みください。
銀行名：北國銀行 支店名：寺井支店(店番 216) 普通預金 口座番号：290071

○全国大会進出者・作品制作者への研修会

1) 番組制作部門(県大会優秀賞以上受賞作品)

日 時 6月6日(金) 会 場 石川県青少年総合研修センター

2) アナウンス・朗読部門(県大会優良賞以上受賞者)

日 時 6月6日(金) 会 場 石川県青少年総合研修センター

○全国大会概要(予定)

原稿・発表データ、作品・番組進行表等締切

6月19日(木)

準々決勝 7月22日(火)

準決勝 7月23日(水)

決勝 7月24日(木)

※アナウンス・朗読については、準々決勝から会場での審査です。番組部門については、昨年同様にデータによる事前審査ですが、準々決勝から会場で上映されます。また、研究発表部門の発表校を代表する2校に、全部門決勝のNHKホールで発表の場を設けます。